

# ネイチャーセンターだより



## ハマシギ

英名：Dunlin 学名：Calidris alpina

11月～12月にかけて、春国岱の浜辺にハマシギが集まっていることがあります。

ハマシギは全長約21cmのシギの仲間で、海岸や干潟などで貝やゴカイなどを捕まえて食べます。20羽くらいの群れで、まるで波を追いかけるように行ったり来たりしながら、忙しそうにエサをさがします。

春国岱では春と秋の渡りの時期に多く見られますが、越冬することもあります。

## ワシワシウォッチング

1  
月  
の  
イ  
ン  
ト  
ラ  
ク  
ト

日時：2008年1月27日(日) 8:00～10:30

対象：どなたでも

参加費：100円/1人(保険資料代として)

申込：2007年1月22日(火)までに電話にて受付

持ち物：帽子、手袋、暖かい服装、温かい飲み物、双眼鏡(あれば)



お申し込み・お問い合わせは、ネイチャーセンターまで (0153-25-3047)

# ネイチャーセンターのイベント報告

## 風蓮湖の魅力を探るバスツアー 10 / 28

10月28日(日)、市民の方に風蓮湖の新たな魅力を発見してもらうことを目的として、風蓮湖をバスで1周する「風蓮湖の魅力を探るバスツアー」を開催しました。

朝9時に市役所駐車場を出発し、道の駅スワン44、槍昔、走古丹などをめぐりながら、風蓮湖の自然や根室の歴史などに触れました。

道の駅スワン44では、オオハクチョウの体重や大きさ、羽の数などを考えてもらいながら観察をおこないました。紙で実物大に作った物を見せると、参加者から驚きの声があがりました。

昔から根室に住んでいる方からは、「近くに住んでいるけど、風蓮湖にこんな素晴らしいところがあるとは知らなかった。とても楽しかったです。」との感想をいただきました。





走古丹にて野鳥観察

## フィールドボランティア説明会 オオハクチョウ調査体験 11 / 3

春と秋に、風蓮湖に渡ってくるオオハクチョウ。風蓮湖はオオハクチョウにとって渡りの大事な中継地となっています。私たちレンジャーは、毎年継続的に飛来するオオハクチョウの数を数え、風蓮湖の環境の変化などを調べています。今回は、調査が出来る人を増やしていきたい!という思いから、一般の方にも体験してもらいました。

当日はお天気も良く、絶好の調査日和でした。道の駅スワン44、春国岱、温根沼で見られるオオハクチョウの数を、カウンターで数えていきました。今回阿寒町から参加してくださった方は、「意外に簡単でした。楽しかったのでまたやりたいです。」とおっしゃってくださいフィールドボランティアに登録してくださいました。



11月3日	風蓮湖全域	春国岱 スワン44周辺	温根沼	
	2,393	1,802	395	
	175	125	61	
合計	2,568	1,927	456	(羽)

風蓮湖・温根沼あわせて3,024羽になりました。

## ネイチャーセンターボランティアの活動

あなたも風蓮湖・春国岱で活動してみませんか ~フィールドボランティア募集~

ラムサール条約登録湿地で活動してみませんか? ネイチャーセンターでは、フィールドボランティアを募集しています。ご興味のある方はネイチャーセンターのレンジャーにお問い合わせください。どんな活動をしているか見てみたい方は、事前に電話で連絡いただければ活動日を案内します。

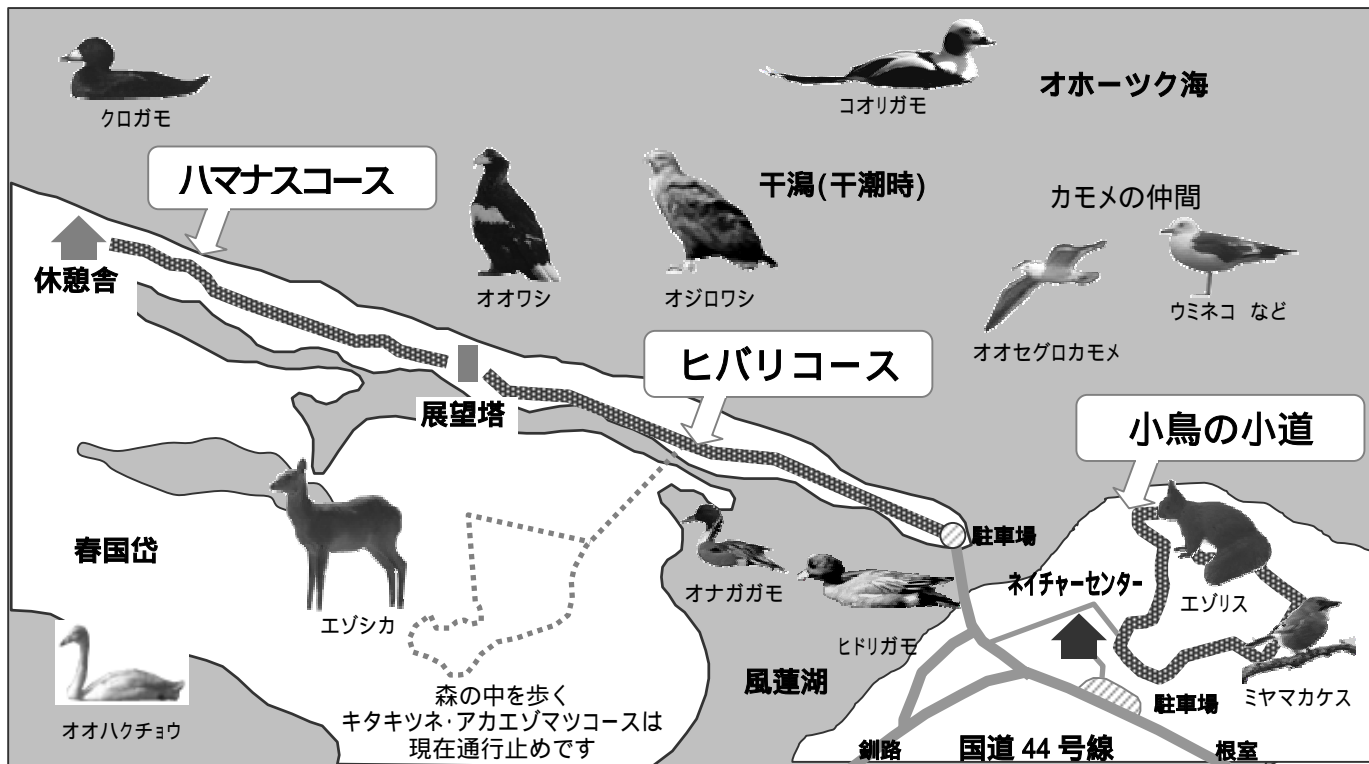
# 12・1月の自然情報

春国岱の森の中に行く、キタキツネ・アカエゾマツコースは現在通行止めです。

展望塔もご使用いただけません。

浜辺に行く、ヒバリ・ハマナスコースとネイチャーセンター横の小鳥の小道が散策できます。

センターでは、双眼鏡の無料貸し出しをしていますので、お気軽にご利用ください。



観察路がぬかるむ場所があります  
十分注意してください

## ～小鳥の小道～

### アカゲラ



自然学習林を歩いていて、キョッ、キョッという声とともに、コツコツと木をつつく音が聞こえてきたら、アカゲラです。冬は、ネイチャーセンター前のエサ台にもよく来ます。

## ～ハマナスコース～

### アザラシ

ネイチャーセンターから望遠鏡でオホーツク海の沖をのぞくと、岩や氷の上でゴマフアザラシやゼニガタアザラシが休んでいることがあります。



## ～ハマナスコース～

### コオリガモ



オスは長くピンと伸びた尾と、頬の黒い斑が特徴で、海にもぐって貝などを捕まえて食べます。沖に群れているのを見ることができます。

## ～ヒバリコース～

### ハシビロガモ

風蓮湖が凍るまでの間、春国岱湾には多くのカモがやってきます。数が多いのは、オナガガモ、ヒドリガモ、スズガモですが、中には、くちばしがしゃもじのようなハシビロガモも見られます。



# ネイチャーセンター日記

毎年、冬になると自然の中にエサが少なくなるため、ネイチャーセンター前にエサ台を設置し、ヒマワリの種や脂身などをおいています。エサ台には、エナガやアカゲラ、エゾリス、ネズミなどがやってきて、私たちや来館者を楽しませてくれます。

今までは、窓から少し離れたところに設置していたのですが、今年は新たに1ヶ所、窓際に木の枝を積み重ねたエサ台を設置してみました。



設置した次の日、まだエサを置いていないにも関わらず、さっそくゴジュウカラ、アカゲラ、カケスが偵察にやって来ました。アカゲラはなんと窓のところまで来て、センターの中を覗き込んで帰って行きました。

その様子は「まだ、置いてないの？早く置いてくれ〜」と、まるで催促しているみたいでした。

もう少し、待っててね！

まだないなあ〜

## メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。（郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。）

連絡先: [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

また、ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもPDF形式で公開しています。

ホームページ: [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

## 団体向けプログラムのご案内

野外解説 (1~2時間 / 10~20名)

自然のお話 (25分 / 10~45名)

自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム (0.5~2時間 / 10~20名)

**事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。**

などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等にらせていただきます。

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地  
電話 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570  
HP [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)  
メール [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

12・1月の開館時間  
9:00~16:30  
12月の休館日  
5・12・19・25・26・30・31  
1月の休館日  
1~5・9・15・16・23・30

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

2007.12 発行